

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 令和6年 2月 5日

事業所名: ファイト

サービス種類: (児童発達支援・放課後等デイサービス)

| 区分           | チェック項目   | 現状評価(実施状況・工夫点等)   | 保護者の評価                   | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容   |
|--------------|--|---|--------------------------|--|
| 環境・体制整備      | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保   | 指導訓練室1室と事務室兼休憩室のみで十分な広さとは言えなくなっている。<br>はい33% どちらともいえない67%(スタッフ評価) | はい43% どちらともいえない50% いいえ7% | 今年度は昨年より利用人数が増加したため、このような結果になったと思われます。体操やレクリエーション時は特に机を移動するなど工夫をしています。           |
|              | 2 職員の適切な配置   | 人員配置基準を守って配置しているが、保育士・児童指導員が中心である。<br>はい67% どちらともいえない33%          | はい79% わからない21%           | 10人の定員に対して求められるスタッフの配置基準2人に加え1名のスタッフを配置しています。                                    |
|              | 3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備                          | 玄関のみ段差あり。<br>はい17% どちらともいえない17% いいえ66%                            | はい71% わからない29%           | 言葉での指示が入りにくいお子様のために、視覚支援カードを使った説明やホワイトボードでの説明、一つ一つの指示を心がけています。                   |
|              | 4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保  |   | はい86% どちらともいえない14%       | 毎日、サービス終了後清掃・消毒を行っています。  |
| 業務改善         | 1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画                                | はい33% どちらともいえない67%  |                          | P(計画)D(実行)C(評価)A(対策・改善)のCとDがファイトでは不十分の意見があったので、取り組んでいこうとします。                     |
|              | 2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施   | どちらともいえない17% いいえ83%   |                          |  |
|              | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保  | はい50% どちらともいえない50%  |                          | どの職員も研修に参加できる機会を与えています。  |
| 適切な支援の提供     | 1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成         | はい100% (スタッフ)   | はい100%                   |  |
|              | 2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成                 | はい83% どちらともいえない17%  | はい100%                   |  |
|              | 3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載                   | はい100%  | はい100%                   |  |
| 適切な支援の提供(続き) | 4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施                                       | はい100%  | はい93% わからない7%            |  |
|              | 5 チーム全体での活動プログラムの立案  | はい83% どちらともいえない17%  |                          | 毎回子ども達の今の課題や療育のテーマに合わせた活動や学習を会議で決めています。スタッフ全員が会議に参加するのは難しいですが、会議ノートで確認してもらっています。 |
|              | 6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援   | はい83% どちらともいえない17%  |                          | 長期休暇の前には職員会議を持ち、毎日の過ごし方や通常授業終了後に出来にくいような活動を入れて楽しくファイトで過ごせる計画を立てています。             |
|              | 7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施   | はい83% どちらともいえない17%  | はい100%                   |  |
|              | 8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底                                     | はい83% どちらともいえない17%  |                          |  |
|              | 9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化                               | はい67% どちらともいえない33%  |                          | お子様の送迎が夕方ありますので、次の日の午前中に反省点など確認あっています。   |
|              | 10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施                                       | はい83% どちらともいえない17%  |                          | 個人の療育記録日誌を毎回記録し、気になった事や改善点などは次の日の会議で話し合っています。                                    |
|              | 11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し                               | はい83% どちらともいえない17%  |                          |  |
|              | 1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画                           | はい17% どちらともいえない83%  |                          | 子供の状況に精通した最もふさわしい者の解釈が人それぞれでした。  |
|              | 2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 |   |                          |  |

| 区分             | チェック項目  | 現状評価(実施状況・工夫点等)       | 保護者の評価                                   | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容   |
|----------------|---|-----------------------|--|--|
| 関係機関との連携       | 3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備                       |                       |  |  |
|                | 4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有            |                       |  | 該当者なし。   |
|                | 5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供               |                       |  | 移行の際には、情報提供いたします。  |
|                | 6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進                                     | どちらともいえない 17% いいえ 83% |  | 西播磨圏域情報交換会などを通じて専門機関との連携や研修を希望したいと思います。  |
|                | 7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供 | はい 66% どちらともいえない 34%  | はい 57% どちらともいえない 7%<br>いいえ 7% わからない 29%  | 毎月1度子ども食堂で、地域の方や子供たちと昔あそびをしたり食事をしたりして交流を持っています。  |
|                | 8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営   | どちらともいえない 17% いいえ83%  |  | どのような形で行事の招待ができるか考えていきます。  |
| 保護者への説明責任・連携支援 | 1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明  | はい 100%               | はい 100%                                  |  |
|                | 2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明   | はい 100%               | はい 100%                                  |  |
|                | 3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施  | はい66% どちらともいえない 34%   | はい 64% どちらともいえない 7%<br>いいえ 7% わからない22%   | 連絡ノートや電話・送迎時・ファイトサロンを通して保護者の方の悩みに寄り添っています。そこでアドバイスする事はございますが、その事柄については秘密保持の観点から皆様に報告していません。何か悩みがございましたら遠慮なくご相談下さい。 |
|                | 4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底   | はい 83% どちらともいえない17%   | はい 93% どちらともいえない 7%                      | 保護者様とお子様について話す機会をこれまで以上に持ちたいと思います。   |
|                | 5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施   | はい 100%               | はい 86% どちらともいえない 7%<br>わからない 7%          | 面談をご希望される方は遠慮なくファイトにお知らせください。  |
|                | 6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援  | はい 66% どちらともいえない 34%  | はい 57% どちらともいえない 14%<br>いいえ 7% わからない 22% | 父母の会の活動について、コロナの5類移行後も相変わらず流行が続き、それに加えインフルエンザも9月以降今だに収まる気配がなく学校行事への影響も考え現在に至っています。期待の声も上がっておりますので6年度は行いたいと思います。    |
|                | 7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応                              | はい 83% どちらともいえない17%   | はい71% わからない29%                           | 苦情の皿がいくつも持ち、ご協力のおかげで苦情ととれる事柄はありませんでした。そのような事があれば、遠慮なく申し付け下さい。その事によりお子様に不利になることはございません。                             |
|                | 8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮  | はい 83% どちらともいえない17%   | はい 100%                                  |  |
|                | 9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信                                       | はい 83% どちらともいえない17%   | はい 100%                                  | ファイトのホームページ、ファイト通信を通じて発信していきます。  |
|                | 10 個人情報の取扱いに対する十分な対応  | はい 100%               | はい 93% どちらともいえない 7%                      | これからも気を付けて対応していきます。  |
| 非常時            | 1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底                                      | どちらともいえない 50% いいえ 50% | はい 71% どちらともいえない 7%<br>わからない 22%         | スタッフ・保護者の皆様にも周知していただけるよう書面で報告させていただきます。  |
|                | 2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施  | はい 83% どちらともいえない17%   | はい 64% わからない 36%                         | 年明けの能登の震災もあり、保護者の皆様もご不安かと思えます。ファイトでは3か月に1回程度防災に関する学習や避難訓練を行っていますが、利用者全員に徹底できるように内容も実践的なものにしていきます。                  |
|                | 3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応   | はい 83% どちらともいえない17%   |  | 順次スタッフも研修を受け正しい知識を持つようにしていきます。   |

| 区分    | チェック項目   | 現状評価(実施状況・工夫点等)           | 保護者の評価               | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容                                  |
|-------|--|---------------------------|----------------------|---|
| 同等の対応 | 4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | はい66% どちらともいえない17% いいえ17% |                      | 職員全体が身体拘束に関する正しい理解を持てるよう会議で職員に伝える機会を持ちます。           |
|       | 5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応   | どちらともいえない 34% いいえ66%      |                      | 医師の指示書が必要な該当者なし。                                    |
|       | 6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底  | はい 100%                   |                      | 毎回会議を持ち、改善策を考え実行しています。年度初めに昨年のヒヤリハットを振り返り再度確認しています。 |
| 満足度   | 1 子どもは通所を楽しみにしているか   |                           | はい 86% どちらともいえない 14% | フアイトは楽しく過ごせるところとお子様を感じられるように今後も努力していきます。            |
|       | 2 事業所の支援に満足しているか   |                           | はい 93% どちらともいえない7%   | アンケート結果を踏まえて支援を充実させてまいります。                          |





